

An aerial photograph of Fujisawa City, Japan, showing a dense urban area along a coastline. In the background, the snow-capped peak of Mount Fuji is visible under a clear blue sky. The water is a deep blue, and the city's layout is clearly visible from above.

2023年 「人の和」の未来

INCLUSIVE FUJISAWA

「inclusion」=「排除しない」 vs 「exclusion」=「排除」

フードバンクふじさわ 第2回報告会

「フードバンクふじさわ」との 連携について

藤沢市地域共生社会推進室 玉井 知門

本日のメニュー



取
組
み

「フードバンクふじさわ」との
連携について

背
景

食品ロス削減と食料支援の分野
を超えた連携について

藤沢市の人口推移

フードバンクふじさわの目指すもの

食料品の提供と一人ひとりに寄り添う
伴走型フードバンク



利用者と顔の見える関係をつくり、相談に乗り
関係機関につなげる

フードバンクふじさわ事業目的

廃棄してしまう食品を支援を必要とされている生活にお困りの方などへお届けする活動を目指す。

事業内容

1 食品ロスにかかると事業

- (1) フードバンクかながわ
- (2) 藤沢市フードドライブ品
- (3) 防災備蓄品等の寄付
- (4) 定期的な食料品の寄付
- (5) 団体や個人からの寄付



2 社会的孤立者の居場所(社会参加)事業

パントリーに配布するボランティア活動を通じて、居場所を創る



3 機関紙の発行 2回

その他にも様々な事業を展開

フードバンクふじさわの経過

2020年11月 藤沢市役所フードドライブ開始

2021年 3月 フードバンクふじさわ設立

2021年 4月 フードパントリー3か所

- ささえあいセンターヨロシク♪まるだい
- ふらっとステーションふじさわ
- 地域の縁側ほっと舎

6月 ● ささえあいセンター きらり

● ささえあいセンター かるがも

● ささえあいセンター yell

2022年 1月 市内13市民センター・公民館で食料品回収

5月 **フードバンクふじさわ第1回報告会**

2023年 5月 **フードバンクふじさわ第2回報告会**

6月 フードパントリー 1か所お休み



フードパントリーでの仕分け



フードパントリーでの仕分け



フードパントリーにて配布中



フードバンクふじさわへの協力内容

◎ 藤沢市社会福祉協議会

- (1) 食糧品等の拠点への搬入
- (2) フードパントリーにて相談
- (3) フードバンクふじさわの運営に係る下支え

◎ 藤沢市

- (1) 企業等からの寄付の調整
- (2) 寄付等の協力団体への感謝状贈呈
- (3) センター・公民館フードライブの展開
毎月第2週目の(月)～(金)

C S W

コミュニティ ソーシャル ワーカー

(バックアップふじさわ社協)
「どこに相談していいのかわからない…」

に相談してみませんか



CSWとは

今ある制度では解決しにくい困りごとを抱えている方に寄り添い、一緒に考え、その解決に向けてお手伝いをします。また、一人ひとりの支援に加え、地域づくりのパートナーとして、地域の皆様のささえあいの支援を行います。

お金のこと
仕事のこと
家族のこと
暮らしのこと
etc..



どのようなお困りごとでもご相談ください

個別支援

さまざまな生活のこと

+

地域支援

地域のこと

相談するには

相談は無料です。まずはご連絡ください。電話相談やご自宅等ご都合のよい場所に訪問し、相談をお受けします。

- ・新しい活動を始めたい
- ・隣近所で交流する場がほしい
- ・地域貢献活動をしたい など..

社会福祉法人 藤沢市社会福祉協議会
地域支援担当 コミュニティソーシャルワーカー
☎ **0466-47-8131**

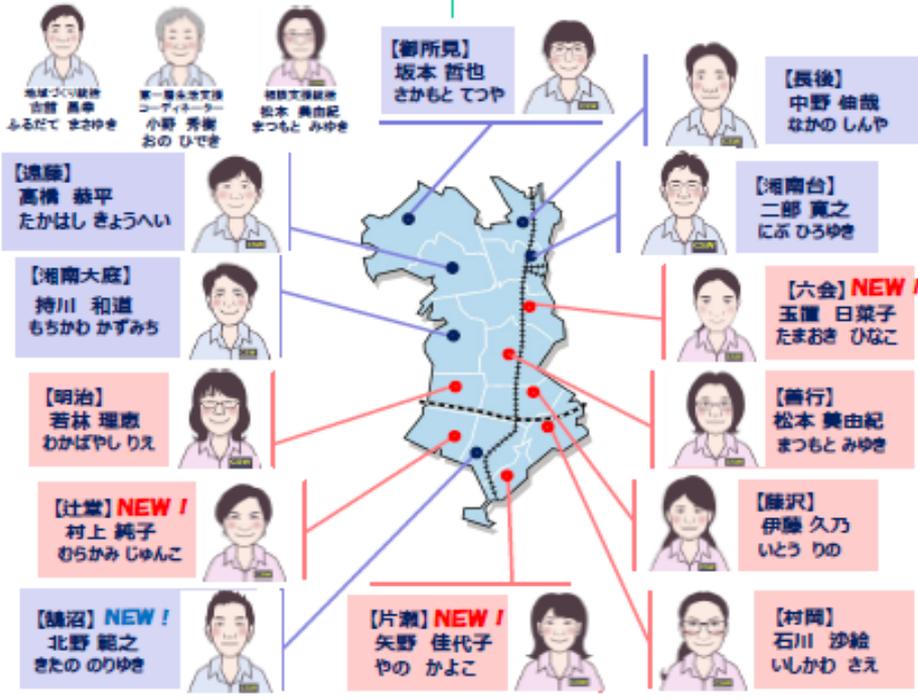
〒251-0054
藤沢市朝日町1-1藤沢市役所分庁舎1階
月～金(祝日年末年始除く)
8:30～17:00

Community Social Worker コミュニティ ソーシャル ワーカー



藤沢市は、住み慣れたまちで誰もが安心して暮らすことのできる地域社会の実現に向けた「藤沢型地域包括ケアシステム」の取り組みを進めるため、2016年4月より藤沢市内各地区に

コミュニティソーシャルワーカーの配置を進めてきました。2020年度より市内13地区すべてにコミュニティソーシャルワーカーが配置されています。
※「コミュニティソーシャルワーカー」は市の委託事業です。



アウトリーチを中心とした、支援ニーズの掘り起こしや相談援助活動を行うとともに、各市民センターを拠点として相談窓口も開設。また、様々な地域活動をサポートし、地域住民や団体等との顔の見える関係づくりを進めています。

2023年4月26日 感謝状贈呈式 実施

フードバンクふじさわの設立当初から、継続的に生活に困窮する市民のために食料品を寄贈、搬入支援していただいたことに伴い、感謝状を贈呈させていただきました。

● 1 贈呈対象者

(1) 株式会社スズキヤ

(2) 株式会社パイニイ

(3) 株式会社良品計画

(4) 社会福祉法人聖隷福祉事業団

聖隷藤沢ウェルフェアタウン

(5) 株式会社学研ココファン

2023年 4月 感謝状贈呈式



2023年 感謝状贈呈式



本日のメニュー

取
組
み

「フードバンクふじさわ」との
連携について

背
景

食品ロス削減と食料支援の分野
を超えた連携について

藤沢市の人口推移

食品ロス削減と食料支援の 分野を超えた連携について

食品ロスとは

まだ食べられるのに捨てられる食品のことを「食品ロス」といいます。

日本では、まだ食べることができる食品が日常的に廃棄され、大量の食品ロスが発生しています（1日に1人あたりお茶碗1杯分の食品を捨てているとされています）。

食品ロスは、SDGsのターゲットの1つとして取り上げられるなど、世界的に解決すべき課題となっています。

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**



食品ロス削減に向けた取組

「藤沢市環境基本計画」から抜粋

市民

- ✓ 食べ物を残さないことや食材を無駄にしない調理を行うなど、食品ロス削減に努めます。
- ✓ 生ごみ処理器（キエーロ・コンポスト容器）や家庭用電動生ごみ処理機の活用により、ごみの資源化、自家処理に努めます。

事業者

- ✓ 事業活動を通じて発生する食品ロスの削減に努めます。
- ✓ 食品ロス削減に向け、市民・事業者・行政等と協働・連携した取組を推進するとともに、啓発に努めます。

行政

- ✓ フードシェアリングサービスの推進やフードドライブの実施など食品ロス削減に向けた取組を進めていくとともに、周知・啓発します。
- ✓ 各家庭での生ごみ処理器（キエーロ・コンポスト容器）や家庭用電動生ごみ処理機の普及促進のため、購入助成を行います。
- ✓ 食品を無駄にしない計画的購入や冷蔵庫の整理について、周知・啓発します。
- ✓ 事業者に対して食品リサイクル施設等への誘導やフードドライブ活動を紹介し
ます。

民間企業等との連携

事業者として食品ロス削減を進め、さらに社会貢献活動につなげるために、市・市社協・フードバンク団体への食品寄付や、独自のフードドライブ活動が行われています。

災害備蓄品の入れ替えに伴う寄付

事業者用の備蓄品を入れ替える際、古い（賞味期限が残っている）食品を寄付

店舗等でのフードドライブ活動

事業者独自で顧客へ呼びかけたり、店舗などで食品の寄付を募る

食品ロス削減×食料支援

ポイント

福祉・環境・産業分野等、分野を超えた連携で、複雑な課題に対応するネットワークの構築

食品ロス



食料を必要とする人

生活困窮



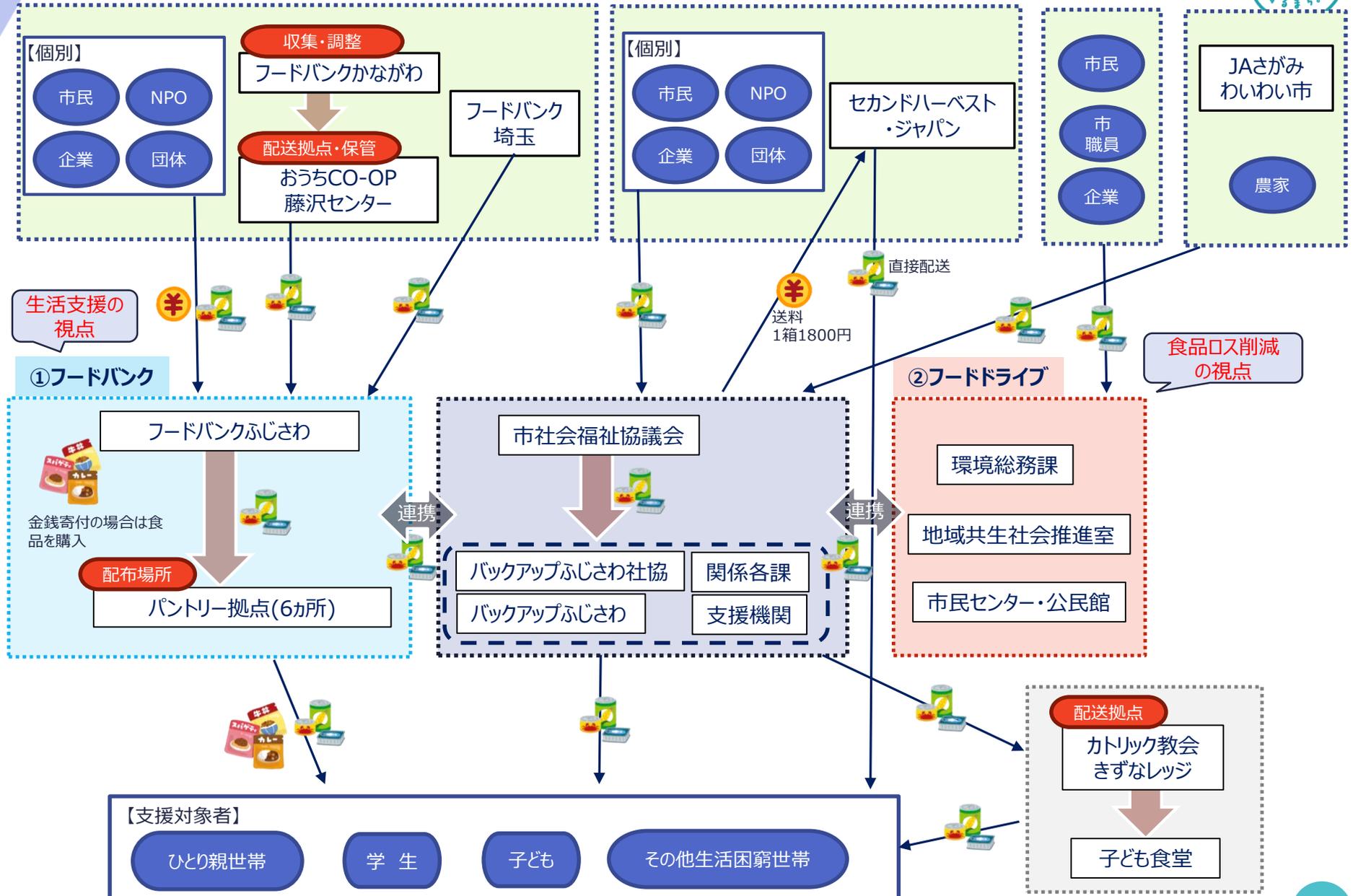
母子の孤立

子どもの貧困

ネットワークによる課題解決をめざす



藤沢市における食料支援イメージ図



本日のメニュー

取
組
み

「フードバンクふじさわ」との
連携について

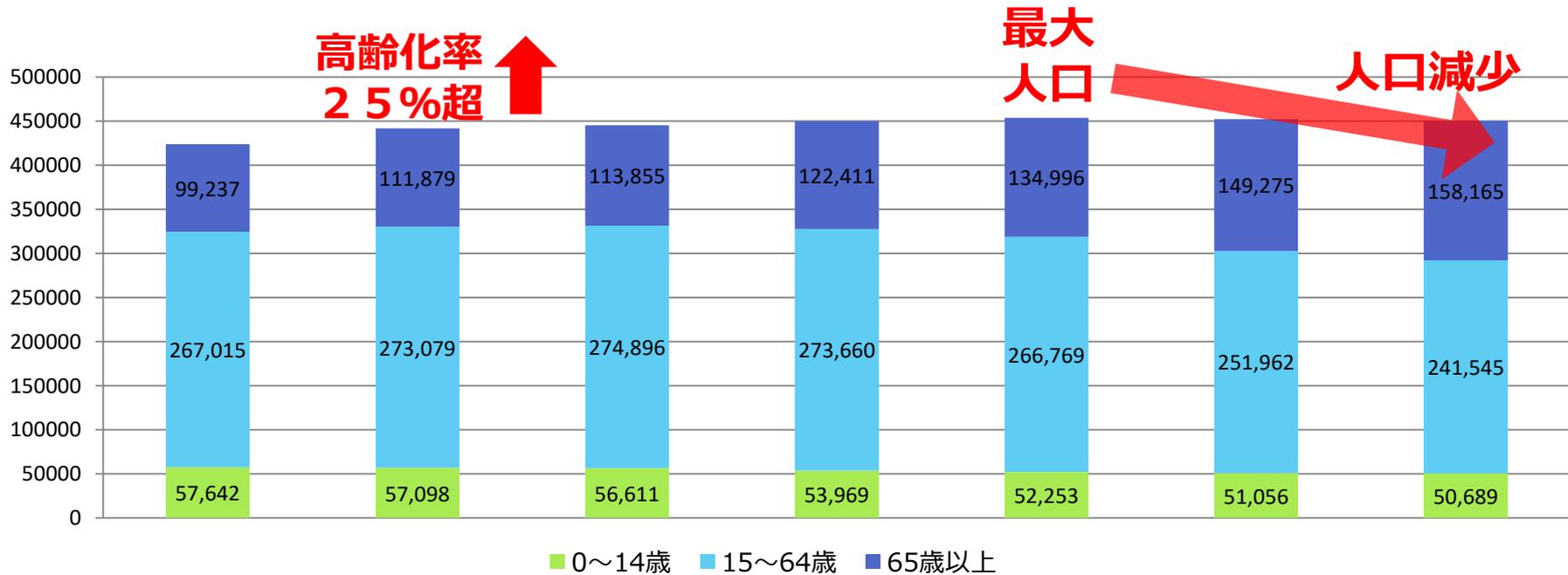
背
景

食品ロス削減と食料支援の分野
を超えた連携について

藤沢市の人口推移

藤沢市の人口予測（※市全体で見た場合）

少子超高齢社会と人口減少社会の到来

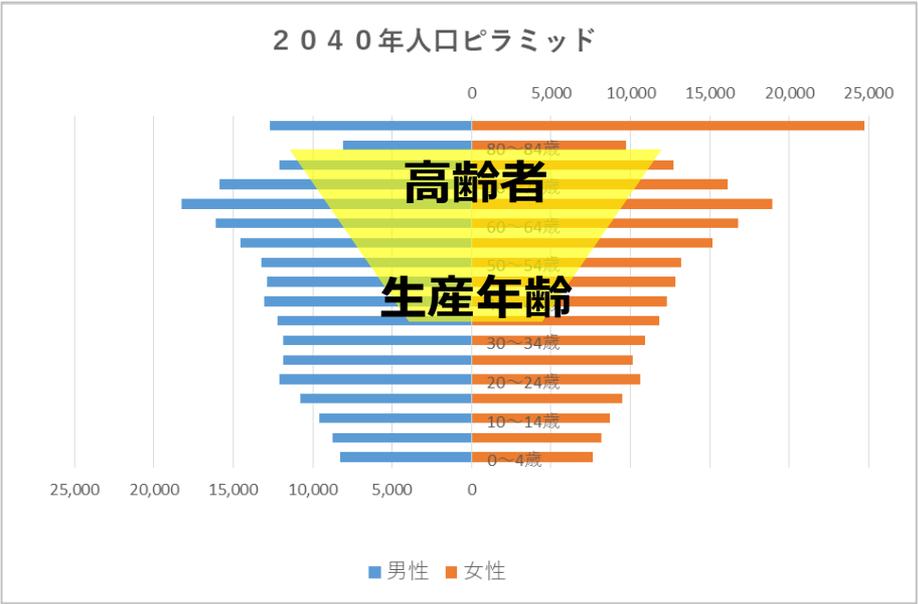
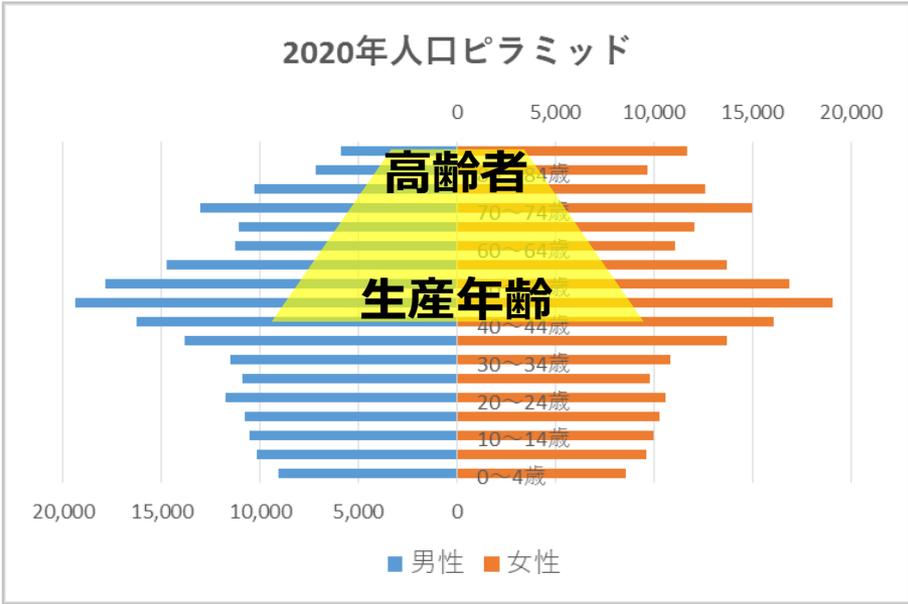


	2015年	2023年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
人口	423,894	442,056	445,362	450,040	454,018	452,293	450,399
高齢化率	23.4%	25.3%	25.6%	27.2%	29.7%	33.0%	35.1%

※65歳以上/人口

藤沢市の人口予測（※市全体で見た場合）

生産年齢人口と高齢者人口のバランスが変化



出典：藤沢市市政運営の基本方針2024

【藤沢市の将来人口推計（2020年と2040年の人口構造）】

13地区別の高齢化率推計

高齢化率の高い順



高齢化率や人口構造はもとより、自治会加入率、就学援助率など、地区によって特性が異なります。

2015年

地区 (65歳以上人口)	高齢化率 (%)
湘南大庭 (9,228人)	28.6
御所見 (5,160人)	28.3
片瀨 (5,594人)	27.8
長後 (8,588人)	25.8
善行 (10,775人)	25.5
鵜沼 (13,077人)	23.6
藤沢 (10,162人)	22.8
辻堂 (9,010人)	21.8
村岡 (6,381人)	21.5
遠藤 (2,450人)	21.3
明治 (5,904人)	20.6
六会 (7,214人)	20.2
湘南台 (5,721人)	18.4

2025年

地区 (65歳以上人口)	高齢化率 (%)
湘南大庭 (10,602人)	34.5
御所見 (5,434人)	31.4
片瀨 (5,806人)	30.0
善行 (11,958人)	29.2
長後 (9,019人)	27.3
遠藤 (3,144人)	25.8
鵜沼 (15,217人)	25.2
明治 (7,657人)	24.3
藤沢 (7,380人)	23.5
辻堂 (10,623人)	23.1
六会 (8,595人)	23.0
村岡 (7,380人)	22.3
湘南台 (7,086人)	20.2

※高齢化率
65歳以上/人口

これからは、
地域の「支え手」「受け手」の垣根を超え、
将来にわたり持続可能な社会の仕組みづくりが必要

【これまでの社会構造】



【めざす姿】



- ・誰もが「支え手」「受け手」となり、地域で支えあうネットワークを形成
- ・ネットワークには個人だけでなく、地域団体や民間企業なども参画

地域福祉を推進するうえで重要な「4助」

◎ 自分のことは自分です ◎

健康管理を含め、日常生活において、できる範囲のことは自分で行う。

また、必要に応じて、民間サービスの利用を選択し、購入する。

（自らの選択・自己負担）



◎ 社会保険制度を活用する ◎

本人の状態に応じて、介護保険制度や医療保険制度などを活用し、介護サービスや、医療サービスなど、様々な保険サービスを受ける。

（保険料などの負担）

◎ 地域などで互いに支えあう ◎

地域での日頃の声かけや見守りから、ボランティアや住民組織での活動まで、日常生活において、住民同士で互いに助けあい、支えあいながら、地域で生活する。

（相互の自発的な支えあい）



**自 互
共 公**

◎ 行政などの公的サービスを受ける ◎

本人の状況などに応じて、行政が行う様々な福祉事業・サービスや、生活保護などの公的支援を受ける。

また、行政において、個人の尊厳を尊重するため、人権擁護に関する取組や虐待対策などを行う。

（税金による公的負担）



藤沢市地域福祉計画 2026 (背景・課題)

地域のボランティア活動の参加意向

「既に参加しており、これからも続けたい」
「参加したことはないが、今後参加してみたい」と感じる割合の合計

令和元年度調査

44.4%



令和4年度調査

36.7%

参加意欲の低下

○地域福祉に関するアンケート調査

※2022年（令和4年）実施

15歳以上の市民4,000人（無作為抽出）を対象とした意識調査

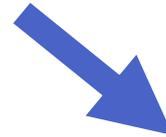
藤沢市地域福祉計画 2026 (背景・課題)

地域で支えられていると感じること

地域に支えられることが「大いにある」「多少はある」と感じる割合の合計
20代、30代が低く年齢が高くなるにつれ、「支えられる」割合は高くなる

令和元年度調査

39.7%



令和4年度調査

36.8%

○地域福祉に関するアンケート調査

※2022年（令和4年）実施

15歳以上の市民4,000人（無作為抽出）を対象とした意識調査

藤沢市地域福祉計画 2026 (背景・課題)

様々な相談に対応できる地域づくり

「充実している」「まあ充実している」と感じる割合の合計

令和元年度調査

12.2%



令和4年度調査

11.8%



地域の担い手の育成、地域でのつながりの構築、相談・支援体制の強化の必要性など、課題が表出

○地域福祉に関するアンケート調査

※2022年（令和4年）実施

15歳以上の市民4,000人（無作為抽出）を対象とした意識調査

お問い合わせ先

藤沢市役所 福祉部 地域共生社会推進室
バックアップふじさわ 0466-50-3533
北部福祉総合相談室 0466-46-0046

藤沢市社会福祉協議会 地域福祉課 地域支援担当
(CSW)
バックアップふじさわ社協 0466-47-8131

An aerial photograph of a coastal city, likely Yokohama, Japan. The city is densely packed with buildings and extends along a curved coastline. A large bay is visible on the left side of the image. In the background, a prominent mountain with a snow-capped peak, Mount Fuji, is visible under a clear blue sky. The water in the bay is a deep blue, and the city's infrastructure, including roads and a river, is clearly visible.

説明は以上です。

ありがとうございました。